

# エンパワーメント・チャレンジ!

## 「普通の社員」を「活躍社員」に変える10の行動実験

株式会社クロスリバー 代表取締役CEO 越川 慎司

### ■ トップ5%社員は増産できる

私が創業した株式会社クロスリバーは、2017年の創業時から全員が完全にリモートワークで、全員が週休3日で、働き方改革のアドバイザー軍団として805社計17万人を支援してきました。我々自身が新たな働き方を実践し、最高の生産性を目指しています。しかし、我々よりも成果を残し、我々よりも工夫して行動実験をしているビジネスパーソンが、クライアント企業の中に多く存在したのです。それが以前の本誌連載で紹介した「トップ5%社員」です。各社の人事評価トップ5%社員の行動履歴や言動を収集し、それを専門家とAIで分析しました。AIによる分析なので、なぜそうなるのかが分からないケースもありましたが、意外な共通点や他の社員との違いが明らかになったのです。

そこで、トップ5%社員に共通した行動やポリシーを他の社員に適応させて、成果が上がるかどうかを立証実験しています。それが「エンパワーメント・チャレンジ」です。トップ5%社員の行動習慣を一般社員が真似したら効果が上がるかどうかという再現実験です。本稿は、その再現実験＝エンパワーメント・チャレンジ!のエッセンスをまとめたものです。

### 目次

- 「自己選択権」を与えて内発的動機づけ
- 行動実験を成功に導く3つの原則
- 取り組むべき7つの領域
- 1. 【社内会議】「やめる会議」をあぶりだす  
“24時間前アジェンダ共有”
- 2. 【社内会議】最初の1分と最後の5分にエネルギーを注ぐ
- 3. 【資料作成】事後行動デザインを徹底する
- 4. 【資料作成】いきなりパソコンを起動しない
- 5. 【プレゼンテーション】冒頭1分の自己紹介で2つの要素を入れる
- 6. 【プレゼンテーション】変化を数字で説明する
- 7. 【巻き込み力】メリットファーストの原則
- 8. 【対話】労いの言葉でスタートする
- 9. 【ITツール使いこなし】「メール見えていますか?」をやめる
- 10. 【時間管理】ペイオフ・マトリクスで仕分け
- 行動の選択肢を増やして変化を楽しむ



越川 慎司 (Shinji Koshikawa) 株式会社クロスリバー 代表取締役CEO

<https://cross-river.co.jp>

国内外通信会社に勤務、ITベンチャーの起業などを経て、2005年にマイクロソフトに入社。日本マイクロソフトでは業務執行役員としてPowerPointやExcelなどの事業を担当。2017年にクロスリバーを設立し、メンバー全員が選択式週休3日・完全リモートワーク・複業（専業禁止）を実践。新たな働き方を実践しながら800社以上に「行動改革（More with Less＝より短時間で、より大きな成果を）」の実現を支援。「PowerPoint資料作成塾」は受講者が2万人を超え、91%が効果を出している。講演および講座は年間400件以上、講演の受講者満足度は平均94%、受講後に自発的に行動を起こす受講者は78%以上。著書17冊『AI分析でわかったトップ5%社員の習慣』『AI分析でわかったトップ5%リーダーの習慣』『ずるい資料作成術』『超会議術』『巻き込み力』など。自著のほとんどが重版となり海外でもベストセラーに。